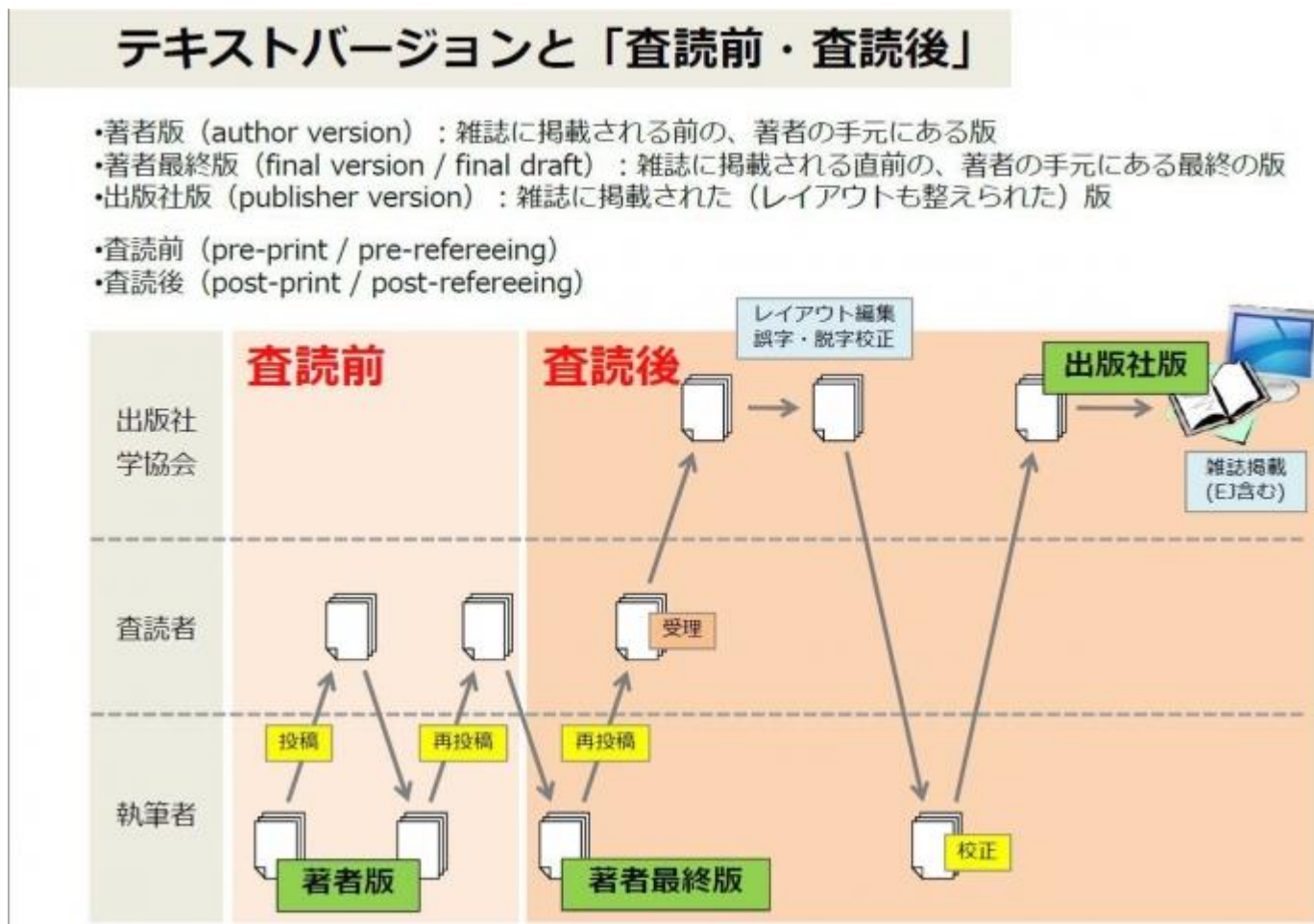


テキストバージョンと「査読前」「査読後」の公開許諾条件(著作権ポリシー)

下記の図は投稿から出版までのモデルと「査読前」、「査読後」、「著者版」、「著者最終版」、「出版社版」の定義を示しています。



平成 26 年 6 月 16 日 国立情報学研究所 JAIRO Cloud 講習・説明会 「著作権について」より引用

リポジトリでの著者版フラグ

publisher = 出版社版, author = 著者版(ETD)となります。出版社版とは出版された レイアウトになったものです。本文データが雑誌や抜き刷りから作成された場合は 出版社版となります。著者版とは出版されたレイアウトになる前の著者の手元にある 原稿のことで、この原稿をもとに本文データを作成した場合には著者版と表示されています。掲載のデータが論文本文のデータではなく抄録の場合は、PDF が添付されていても none=本文なし としています。

リポジトリ登録について

著作権が学協会・出版社に譲渡されている場合、その利用許諾が得られれば公開できます。ただし、許諾したとしても公開のための条件を指定している学協会・出版社があります。

- 学協会によって、査読前、査読後、まったく認めずと、対応が異なりますので、必ず確認が必要です。
- 海外の出版社の多くは、査読前 (プレプリント) 又は査読後 (著者最終稿 : ポストプリント) を機関リポジトリへの登録を許可しています。(Elsevier・Springer・Wiley 等)。出版社版を利用できる所は少数です。
- リポジトリへの登録を希望される方は、著者最終稿 (著者版原稿) を大切に保存しておいてください。